

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2020年5月8日

和歌山県知事

殿

提出者

住所 神奈川県茅ヶ崎市 萩園2609-5

氏名 アルバックヒューマンリレーションズ株式会社

取締役社長 熊澤一郎

電話番号 0467-68-1208

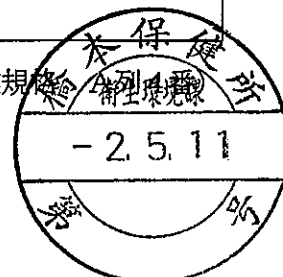
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アルバックヒューマンリレーションズ株式会社 和歌山PCTセンター
事業場の所在地	和歌山県 橋本市 小峰台2丁目8-3
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

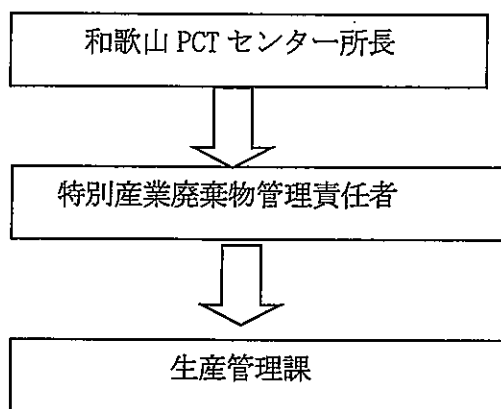
①事業の種類	E-24-249 (製造業-金属製品製造業-その他金属製品製造業)
②事業の規模	3億1500万 (2019年4月～2020年3月)
③従業員数	28名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>○特管廃強酸 処理業者へ委託 (タンクローリーで回収) ⇒ 中和処理 (排水は下水放流)、脱水汚泥は資材化</p> <p>○特管廃アルカリ 処理業者へ委託 (タンクローリーで回収) ⇒ 中和処理 (排水は下水放流)、脱水汚泥は資材化</p>

(日本工業規格)



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



処理計画作成 廃棄物担当

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
	排 出 量	110.72 t	58.86 t
	(これまでに実施した取組) 薬品を使用する工程において、薬品の変更及び濃度を見直す事で排出量の削減に努めました。		
② 計画	【令和 2年度 目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
	排 出 量	107 t	57 t
	(今後実施する予定の取組) 2020年度の受注量は昨年度と同等を見込んでおります。 昨年度の実績より3%の削減を目標と致します。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特管廃強酸 : 専用タンクで回収⇒業者引取り 特管廃アルカリ : 専用タンクで回収⇒業者引取り
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 元年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ
	全処理委託量	110.72 t	58.86 t
	優良認定処理業者への処理委託量	110.72 t	58.86 t
	再生利用業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-
	(これまでに実施した取組) 薬品を使用する工程において、薬品の変更及び濃度を見直す事で排出量の削減に努めました。		

		【令和 2年度 目標】			
		特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アルカリ	
② 計画	全処理委託量	107	t	57	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	107	t	57	t
	再生利用業者への 処理委託量	-		-	
	認定熱回収業者への 処理委託量	-		-	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-		-	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>薬品を使用する工程において、薬品の変更及び濃度を見直す事で 排出量の削減に努めます。</p>				
※事務処理欄					